



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球首脳、政府高官）（44・4・25田中外務政務次官・沖縄復帰代表 外務省外交史料館レファレンス番号：H221340）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(5) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

44
45

田中外務政務次官
沖繩復帰協代表

右、しかし次官の招待要切に依り、同席者
明崎代士も当然に之を以て之となく、約

40分以上の答へ続いた。先方の弁士は種
々に論理通せず、支離滅裂、その程度

の低く(概ね20-30代の若者風、~~年齢若く~~同席
者2-3名)を示したが、概ね沖繩在野の

^{70年代}
の、~~不-~~が在野に在りて発言する者(比、
原潜、基地撤去、安保反対、米国の植民政策

反対、平和憲法、米軍撤退の存在等、~~米軍~~
犯罪基地公言、対沖差別、~~日米政府の沖繩~~
_(日米政府)

意見と対峙した。政府は概ね自由放任主義
的。))

4. 約45分後、先方明崎代士は、約45分
を充分上廻つた。其に指指せし、同代士は

同席に款々此を依り、同席二名は之に
既にして全退退室した。しかし表裏に

至つたところ、先方退室後、約50名位は塔之
に之を「大層に居合せ了、と叫び」立去る者あり

^{同代士}
先方明崎代士は、先方退室後、~~先方~~ 先方退室後、
約30分後に退室退去した。右

^{先方退室後}
先方退室後、先方退室後、先方退室後、
先方退室後、先方退室後、先方退室後、

5. 所感 - 当初の社会党の方の連絡の少く

数は「静かに」話すとの印象であったが、上記の
如く、預予想外の印象であった。しかし後述の

^{先方退室後}
先方退室後、先方退室後、先方退室後、
先方退室後、先方退室後、先方退室後、

^{20-30代}
先方退室後、先方退室後、先方退室後、
先方退室後、先方退室後、先方退室後、